



空知支部

八幡 吉昭  
Yoshiaki Yahata

平成31年4月に入会いたしました八幡吉昭といいます。

昨年、小さいですが自宅の新築をしましたので、その際に行ったフローリングのDIY

について書かせていただきます。

建築の際、2階の寝室と子供部屋のフローリングを自分で施工したいと建築会社さんに無理を言って了承してもらいました。DIYに興味があったのと、建築費を抑えたかったのと、子供に「この部屋はお父さんが作った」と自慢したかったからです。

使用した材料は無垢フローリング、針葉樹は温かみがあり冷え性にいいだろうということで、寝室は杉、子供部屋はヒノキにしました。ネットで注文したのですが、自宅配送かと思いきや運送会社止めになると発送後に連絡があり結局美唄まで取りに行くことに。自分の車に20数本の長尺ダンボールを何とか積み込み作業に入ります。

まず、寝室から手をかけましたが、意気揚々と貼ろうとすると大工さんが「割り付けた方がいいよ」とありがたいアドバイス。下準備などの作業が苦手な性格ですが、部屋の中央を出し、そこから板の幅に沿って床に線を引いていきます。割り付けが終わったら、一番端の材料を割り付けで算出した幅に切断して仮組を行います。フローリングの

端には凹凸があり、それを合わせていくことにより組立てます。一番端とその次の列の仮組が終わったら、一度ばらして床用ボンドとビスで固定します。この時木材と木材の間に微妙にスキマを開けないといけなくて、家にあった単語帳を一枚ずつはさんで、当て木をして金槌で調整します。家の引渡しまでに作業が終わるよう、仕事が終わってから夜な夜な建築中の家に入り込み作業を行いました。怖いのでラジオを持参し、腰にサポーター、ひざ当てを付けて。かなり時間がかかり体も痛くなりましたが、達成感はひとしおでした。子供部屋は家の引渡しの後に、子供に邪魔されながらも行き、慣れたのか寝室より手際よく綺麗にできました。

杉は柔らかく足ざわりが良いのですが、空のチェストのキャスターを引いただけで跡が残るほど傷つきやすい木材です。ヒノキは香りが良いのですが、反りや曲りが多くて相性のいい木材を見つけるため何度も仮組をしないといけなかったのが大変でした。このために買った丸のこと電動ドライバーを使って次は何を作ろうかと思案中です。

